

＼もっと知りたい！活かしたい！／ 海にうかぶ博物館 あまくさ

海や山に囲まれ、自然豊かな天草。四季をと
おして植物が彩りを添え、鳥のさえずり、海の
においなど自然を身近に感じることができる
美しい土地です。

ただ、住み慣れてそれが当たり前になると、
魅力に感じなかったり市外の人から天草の良
さを聞かれても答えられなかったり…。そん
な人も多いのではないのでしょうか。

当たり前と思っている天草の自然がどんな
に魅力的なのか再発見してみませんか。そし
て、もっと自然を有効活用しましょう。

☎恐竜の島博物館推進室 ☎32-6778

茂串海水浴場



市政だより

あまくさ 12²⁰²⁰月号

主な内容

- 2 海にうかぶ博物館 あまくさ
- 8 いきいき健康
- 10 くらしの情報
- 25 世界遺産トピック／天草見どころ図鑑
- 26 市民のひろば
- 28 未来のスター／和んチーム
- 29 わたしの記念日
- 30 宝島のわだい
- 33 キラリ天草人
- 34 お出かけ情報／12月の潮汐
- 35 休日在宅病・医院
水道修繕当番店／献血日程
- 36 あまくさ
ロマンティックファンタジー 2020
交通事故に気をつけよう！



LINE



Facebook



Instagram

人のうごき

10月末日現在

10月中の異動

※()内は前月比

人 口	78,405	(85減)	出生	37人
男	36,814	(33減)	死亡	114人
女	41,591	(52減)	転入	91人
世帯数	36,818	(13減)	転出	99人

問い合わせ先

本 庁	天草市役所 ☎23-1111 〒863-8631 天草市東浜町8番1号
支 所	牛 深☎73-2111・有 明☎53-1111 御所浦☎67-2111・倉 岳☎64-3111 栖 本☎66-3111・新 和☎46-2111 五 和☎32-1111・天 草☎42-1111 河 浦☎76-1111

サップ
SUP /



写真提供: WAVE ACT

他にも、トレッキングやダイビング、釣りなど…

楽しく自然を体験できるアクティビティが目白押し！

アクティビティの紹介▶
【一社】天草宝島観光協会
ホームページ



フットパス /



イルカウォッチング /



自然観察 /



楽しみ方イロイロ

山も海も空も美しい！素晴らしい場所

天草宝島案内人の会で、崎津集落や五和町のイルカウォッチングなど天草全域の案内をしています。ただ説明するだけでなく、天草の歴史や文化がお客さんの心に伝わるような案内を目指しています。

20年ほど前に県外から天草市に帰ってきて思い出しました。やはり天草は山も海も空も美しい。

特に倉岳が好きで、たくさんの島々など、天草らしい景観が見渡せます。そんな景色を眺め、素晴らしい場所だと実感して、天草の人も天草のことを好きになってもらいたいです。



天草宝島案内人の会
会長 金澤裕蔵さん



▲申し込みはこちら

☎天草宝島案内人の会
(天草宝島観光協会内) ☎22-2243

自然クイズ！

- Q1 天草で一番高い山「倉岳」の標高が高い理由は次のどれでしょう。
- 答え B 倉岳は、約1600万年前にマグマ活動が起き、周りの泥の地層を割って上昇してきたマグマ由来の硬い岩石からできています。そのため、風化侵食に強く、昔の標高を保っています。
- Q2 天草には「アマクササンショウウオ」など決まった場所にしか生息していない生き物がいます。それはなぜ？
- 答え C その場所にしかない特別な食べ物や、人が捕まえて少なくなったから
- Q3 移動できなくて、その場所に進化したから
- 答え C サンショウウオの仲間は清流から離れることができず、ゴシノウラオオオサムシは羽を使って飛ぶことができないため、御所浦島などの離島から移動できません。

知れば知るほどおもしろい天草

〰〰〰〰〰〰〰



地層・化石に詳しい
鶴飼学芸員
(恐竜の島博物館推進室)

天草は3つの海（東シナ海・有明海・八代海）に囲まれ、入り組んだ地形や120の島々など、豊富な自然資源に恵まれた地域です。

大地には恐竜の化石が眠るなど約1億年の歴史が記録され、地形や土壌、海に囲まれた環境に適した植物が育ち、豊かな森林を形成しています。

また、島という孤立した環境で生息する動植物や昆虫の中には、固有の種に進化しているものもいます。

島を囲む海は、内湾や外洋、複雑な地形の海岸などに多様な生き物が生息でき、日本では消滅しそうな生き物が、まだ多く生息している場所もあります。

そして、海の生態系の頂点であるイルカが数多くいるということは、その場所に豊富な生き物が生息していることの証なのです。

地形

天草で一番高い山 /



倉岳（倉岳町）



妙見浦（天草町）
地殻変動と波の侵食で偶然ゾウのような形になりました

マグマの熱でできた石 /



四郎ヶ浜ビーチのまぐろ石（有明町）

海



牛深海域公園（牛深町）
色とりどりのサンゴが群生。
グラスボートで遊覧が楽しめます



海上マリア像と夕陽（河浦町）
天草夕陽八景の1つ。写真スポットになっています

生物

清流を好むきれいな生き物 /



アマクササンショウウオ（栖本町） 写真提供: 吉崎和美



シロウオ（新和町）
春先の風物詩。踊り食いもできます

ほとんどのオサムシは金属光沢がありますが、このオサムシは漆黒で珍しい！



ゴシノウラオオオサムシ（御所浦町）

植物

大宮地の群生地は日本有数の規模！ /



ハマボウ（新和町）



アコウ（天草町）
大きな岩を抱くアコウ。天空の城ラピュタを連想させます



ツバキ（天草町）
西平橋公園では、約2万本のヤブツバキが目を楽しませてくれます



「魚貫崎の自然と文化を守り伝える会」

会長 大西一元 さん(左) 武田昌代 さん(右)

**見慣れた景色にも
発見がありました**

牛深地区の「魚貫崎の自然と文化を守り伝える会」は、地元有志で地域にある海や山、旬の食材などの豊かな資源を活用して訪れた人をもてなしています。

サップやスキューバダイビング、フットパスなどの野外活動支援もしながら天草の魅力を伝えており、今回は、専門的な知識を身に付けてもつとお客さんに満足してもらいたいと「自然資源学術支援」を利用したと言います。

あの地層は約7000万年前の砂岩と泥岩でできています!

魚貫崎の自然と文化を守り伝える会 Facebook



この日は船に乗り、里浦湾から見える景色について、地層の成り立ちや自生する植物のことなど約1時間程度レクチャーを受けました。

これまでも独学の知識で地域の魅力を伝えてきた同会。学術支援を受け、「小さいころから見慣れていた山が、実は約7000万年前の恐竜時代のものであったことに驚き。地層や化石のことなど、専門的なことを現地で直接聞けた」と笑顔の2人。

今回学んだことをお客さんを案内するときの説明に織り交ぜ、さらに深く魚貫崎を楽しんでもらいたい。そして地域の交流人口アップにつなげていきたいと話してくれました。

▲支援は海上も OK

「子どもたちの教育も支援」

天草高校 SSH の活動も支援

ボーリングのようす▶



天草高校科学部が行っている気候変動の調査を支援しています。ハンドボーリングで採取した試料(珪藻や花粉の化石)を分析し、化石が含まれる地層の時代の気候を推測。いくつかの時代の地層を調べ、今後の海水面の上昇水位の推測を行うもの。

調査する場所や方法の指導、研究発表へのアドバイスなどを行っています。

天草は「自然豊かな土地」。長く住んでいるとそれが当たり前で魅力だと感じないことがありますよね。「海にうかぶ博物館あまくさ」は、これまで気づいていなかった魅力に気づいてもらうためのお手伝いをします。皆さんが行うさまざまな取り組みや教育などに、新たな知識をプラスすることで、活動をよりグレードアップできるはずです。

そのためには、天草を好きになって、学ぶことから始めてみませんか。

小学校へ出前授業



いろんな場所の石が気になるようになりました

本渡北小学校で石の図鑑づくりワークショップ▶



石の図鑑づくりワークショップ

天草の各地で産出される本物の石で図鑑を作成! 石や土地の成り立ちを学習します。

「自然に詳しく / なるよう!」 専門的な知識 UP! をお手伝い

令和2年3月に天草ジオパークの活動を終了し、新たに「海にうかぶ博物館あまくさ」の活動がスタートしました。これまでの活動の資産を活かしながら、天草地域の自然資源を利用した活動を行う団体などを支援しています。

主な支援

☑自然資源学術支援

天草地域の自然資源を利用した活動を行う個人または団体を対象に、学術的調査の実施や見どころを情報提供をします。

☑自然学習出前授業

地質・化石専門の学芸員が学校で授業をします。教科書の内容を実際の自然を使って学ぶことができます。

☑自然学習出前講座

自治会や職場の研修などの場に学芸員が出向き、講座を行います。

例: 防災に関する知識向上のための講座(天草で起きる自然災害のメカニズムや発生条件など)、天草で発見された恐竜や生き物たちについての講座 など

支援には申し込みが必要です。

ほかにも、自然環境の保全活動支援(海岸のゴミを地域と共同で回収する取り組みなど)も行います。

☎天草自然資源活用推進連絡会(恐竜の島博物館推進室内) ☎32-6778

支援の申し込みなどの詳細はこちら▶



▲約 4000 万年前の貝の化石



▲神掛けの滝

自然資源の学術的な支援を利用した人へインタビュー

「大宮地神掛けの滝プロジェクト」

山歩きに知識をプラス

新和町大宮地地区にある「神掛けの滝」。全長15メートルと島内随一の大きさを誇ります。

大宮地神掛けの滝プロジェクトは、この滝で町おこしをしよう、と、地区振興会の有志で結成し、遊歩道の整備などを行っています。

地元の人から、「化石がある」という話を聞き、学芸員の説明を受けることにしたそう。「解説を聞くと、大昔この場所は海中にあり、海中の地層が隆起して現在の山になった。そのため、貝の化石が山の上にある理由が分かりました」と話します。

新たに貝の化石群も発見し、看板作りにも取り組み始めた同プロジェクト。

神掛けの滝の登山客に新たな魅力を提供し、教育にも役立てたいと話す彼らの今後の取り組みに期待が膨らみます。

